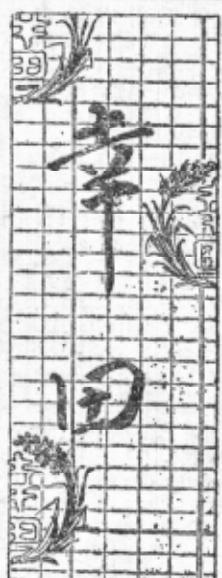


(火曜日)

第五回人権週間を迎えて

名古屋法務局人権擁護部長  
前田正一



第45號

發行所  
愛知縣額田郡  
幸田町中央公民館  
印 刷 所  
岡崎活版所

人権宣言の歴史は今から七三八年、前イギリスにおける大憲章に遡るのであるが、アメリカの独立宣言、フランスの革命宣言などは人類の自由獲得の歴史の上に忘ることのできない足跡を残すものである。これらはの宣言はいづれも、人間は生れながらにして自由と平等の権利をもつてゐる。そしてすべての政治組織は人間が神から与えられたこれらの権利を保護するために設けられてゐる。従つて政治組織を動かして行く権力の根源は国民に存じなくてはならぬといとして自由、平等、友愛の三つを旗印として多くの努力が重ねられてゐる。

この十二月十日は、パリにおける国際連合総会において世界人権宣言が採択されてから五週年を迎える記念すべき日である。思えばあの第二次大戦中アメリカのルーズベルト大統領が昭和十六年の年頭教書の中で「言論と信教の自由、欠乏と恐怖か

らの自由を確保することが、世界平和の上に欠くことのできない重要な課題である」と声明されたのをきっかけに、世界各国の共鳴を得て昭和二十一年ロンドンで開かれた第一回国際連合経済社会理事会は人権委員会委員を任命して世界人権憲章の起草にとりかかり、故人の意思を継いだルーズベルト夫人が自から議長となつて審議した結果、昭和二十三年の秋パリにおける国際連合総会に上程され、數十回の会議を経た上同年十二月十日世界四十六ヶ国によつて採択されたものである。

この世界人権宣言はその性質上世界各国のいずれの国に対しても法的な拘束をもたず、單に道義的な規範を宣言したにとどまるが人権宣言史上において最大の成果をあげたものといわねばならない。

曰く前文の冒頭に「この世界に自由と正義と平和を確立するためには人類社会のすべての構成員が生れな

がらにして尊厳なものであり、かつだれしもがひとしく他人に譲りわたすことのできない権利をもつてゐる。ということを承認しなければならない」とあり、なお結びにおいて「この宣言はすべての国の人民のすべての国家が達成すべき共同の基準である。社会すべての個人すべての機関は常にこの宣言を念頭におきつゝ指導と教育とによつてこれらの権利及び自由に対する尊敬の心を向上させ、国内的にも国際的にもさまざまの漸進的措置を講じ加盟国自身の国民の間にもその管轄内にある地域の人々との間にもこれらの人権と自由が、あまねくかつ有効に承認され遵守されるよう努力して行かなければならぬ」と宣言している。

★ 人権問題としてどんなものが多いか		昭和二十八年の事件数	
警察官等による侵犯		三八九	
教育職員による侵犯	五九	教育職員による侵犯	五九
刑務職員による侵犯	一三	刑務職員による侵犯	一三
融務職員による侵犯	二六	融務職員による侵犯	二六
その他の公務員による侵犯	一三三	その他の公務員による侵犯	一三三
人　身　賣　買	六三	人　身　賣　買	六三
酷　使　虐　待	五一	酷　使　虐　待	五一
人　身　の　自　由　に　對　す　る　侵　犯	一一三	人　身　の　自　由　に　對　す　る　侵　犯	一一三
私　利　差　別　刑　刑	一六七	私　利　差　別　刑　刑	一六七
村　八　分　刑	五五	村　八　分　刑	五五
差　別　待　遇	一四〇	差　別　待　遇	一四〇
參政權に対する侵犯	七	參政權に対する侵犯	七
名　譽・信　用　等　に　對　す　る　侵　犯	四四八	名　譽・信　用　等　に　對　す　る　侵　犯	四四八
言　論・信　教・結　社　等　の　自　由　に　對　す　る　侵　犯	一七	言　論・信　教・結　社　等　の　自　由　に　對　す　る　侵　犯	一七
教　育　を　受　け　る　權　利　に　對　す　る　侵　犯	一五	教　育　を　受　け　る　權　利　に　對　す　る　侵　犯	一五
労　働　權　に　對　す　る　侵　犯	一五二	労　働　權　に　對　す　る　侵　犯	一五二
住　居　の　安　全　に　對　す　る　侵　犯	一、一三六	住　居　の　安　全　に　對　す　る　侵　犯	一、一三六
強　制　壓　迫	五〇三	強　制　壓　迫	五〇三
そ　の　他	一〇、一二〇	そ　の　他	一〇、一二〇
合　計	一三、七四一	合　計	一三、七四一
件　數　の　少　な　い　の　は　如　何　に　泣　氣　か　き	ね　い　り　を　し　て　い　る　人　が　多　く　出　し　て　届　け　ま　し　よ　う　。	件　數　の　少　な　い　の　は　如　何　に　泣　氣　か　き	ね　い　り　を　し　て　い　る　人　が　多　く　出　し　て　届　け　ま　し　よ　う　。

## 「町村合併のしおり」より 総務課

町村合併とは

最近「町村合併」の促進ということが叫ばれています。御承知のように、先の第十六国会では、この声に応えるかのよう、「町村合併促進法」が成立致しました。この法律は本年十月一日より施行され、昭和三十一年九月三十日でその効力を失う、三ヶ月の期限付の時限法であります。

この法律施行中の「町村合併」によつて生じた効果は、期間経過後も失はない。故に「三年」以内に合併すれば、この法律失効後も引続いて各種の特典が与えられます。この法律を要約致しますと、町村合併を積極的に促進するため、これが障害の除去や、合併町村を育成強化する措置が講じられております。では「町村合併」とは何でしようか。それは現在、日本全国にある一〇、一六六箇町村は、最大の人口をもつ神奈川県の相模原町（六八、八九五人）から最少の人口をもつ、同県の芦之湯村（一二〇人）に至るまで、大小様々な規模形態をもつたものがありますが、この全国町村の平均人口は五、一五人で全町村数の六割六分、この平均人口以下であるという実情から、これらの町村を適正な規模にするため、町村の廃置分合を行おうというのが、今いわれています。

いる「町村合併」です。むづかしいと「町村合併」とは「二以上の町村の区域の全部若しくは一部をもつて町村を置き、又は町村の区域の全部若しくは一部を他の町村に編入することで、町村の数の減少を伴うもの」のことです。又は「町村合併」という言葉は法律的にはなかつたのですが、これではつきりしたわけです。尙、この処分（町村合併の最終的な決定）は、関係町村の申請に基いて、原則として、知事が、県議会の議決を経て行いますが、前述の「町村の廃置分合」という言葉でもつて将来とも行われます。

町村合併の必要なわけ

端的にいつて、時代がそれを求めているところにあるといへましよう。時代は町村合併をどうしてどのよううに求めているのでしょうか？御承知の通り一世紀ばかりの間に、日本には二大変革が行われた時機があります。それは今までもなく、それが、この時代の要請に応じらなければなりません。当然當時としての適正規模が求められ遂に、明治二十年の大合併となり、本町では、長崎村、久保田村を坂崎村に合併し大草村、高力村、北鷺田村、菱池村、横落村を合併し相見村となり、又秋ヶ村、芦谷村を深溝村に合併し、十一ヶ村が三ヶ村となつたのであります。この坂崎、相見、深溝三ヶ村もまた三十九年さらに合併し、広田村となり、現在の幸田町と生長した次第です。

終戦後の町村行政は、住民の幸福を増すことは、住民に最も身近かな町村においてこそ実現できるものであるという考えに立ち、国の政治の基礎としての、地方自治の強化、町村行政の強化を、昭和の新憲法の中に規定したのであります。時代は、町村に各種の事務のみでなく、住民の幸福を増す事業（衛生施設、文化施設等）や住民に奉仕する事業（勧業事業、町営住宅の建設等）の実施を要請しております。ところで、現在の町村に果してこのような事務を行いうる財政的な、又技術的な能力があるといへるということは、既に御存知の通りであります。

明治の日本は歐米先進国に追いつくための、富國強兵策を樹て、徴兵、戸籍、徵税、義務教育等々の事務を、この「むら」に課したのです。

自然的な部落である、この「むら」が、このような時代の要請に応じらなければなりません。当然當時としての適正規模が求められ遂に、明治二十年の大合併となり、本町では、長崎村、久保田村を坂崎村に合併し大草村、高力村、北鷺田村、菱池村、横落村を合併し相見村となり、又秋ヶ村が三ヶ村となつたのであります。この坂崎、相見、深溝三ヶ村もまた三十九年さらに合併し、広田村となり、現在の幸田町と生長した次第です。

（以下次号に）

(火曜日)



やさしい  
養鶏の葉  
玉子

日一日と寒くなつて参りました。今秋は思ひかけない卵価も、高価を維持しました。只今は大方換羽期に入つて、産卵も低下して居る事と思ひます。兎角産卵の旺盛な時は面倒を見ても、産卵の少い時はお互に疎かに見れば、一年中働いてボロノイになつた衣換へ所謂換羽するので、新らしい羽根と変るのには、相当の栄養分が必要な事は云う迄もない事である。飼養管理には、産卵期に勝る親切な注意がして貰い度い。よく産む鶏は産卵を続けながら換羽をして居るのを見る時おざりに出来ない事がうなづけると思う。換羽の順序更めて述べる事にする。飼養管理について今少し具体的に云うと、給餌をなをざりにせない事は勿論、鶏舎を交へたり、慣習の飼料を急に換へたり、管理者が変つたりなど、環境に急変を来たさない事、又鶏舎の盗風(すき間風)の入らないよう注意しないように、飲料水が凍りついて飲めない事を見てほしい。日も短い事であるから

特に朝の餌は出来る丈早目に薄明りともなれば充分食べます。とかのように細心に親切に面倒を見てやれば、寒明頃ともなればまだ寒くとも何んとなく春の気分になつて来て又々沢山に産卵して其の勞に報いる事は必常と存じます。

## ◎屑米の上等米化

今年は何年にもないお米の不作で何處のお家でも、沢山の屑米や、穀穀がお有りになる事と存じます。之れを上等米化するよう工夫いたしましよう、と言つても人造米を造る事ではない。此の屑米や穀を且鶏のお腹を通して肉とし、或は卵として売却する、即ち上等米化する、そして此の凶年の農家経済を優位に転化するよう努めましょう。

## ○牛の売り方と買い方

幸田町種畜管理所

## 今年の供米

数量	供出数量	左の内超過供出数量
長崎	124.20	7.50
久保	118.40	7.20
坂大	426.00	25.80
高鷲	347.80	21.10
東新岩	189.00	11.40
横	186.70	11.30
横	117.00	7.00
横	134.30	8.10
横	265.40	16.10
横	9.60	.60
横	137.20	8.30
芦幸市	59.00	3.60
黑谷	3.70	.20
海	71.70	4.30
計	2,298.00	139.00

一、仔牛を売る場合  
仔牛が産れた場合、農協か研究会に譲らないのでセリの場合番外となり思わぬ不利を招く事があります。此の検査を受けないと市場名簿に載らないのでセリの場合番外になります。仔牛市場へ出すこと

二、仔牛市場を受けること  
仔牛が産れた場合、農協か研究会に譲らないのでセリの場合番外となり思わぬ不利を招く事があります。

三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

二十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

二十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

二十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

二十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

二十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

二十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

二十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

二十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

二十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

二十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

三十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

三十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

三十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

三十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

三十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

三十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

三十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

三十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

三十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

三十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

四十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

四十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

四十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

四十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

四十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

四十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

四十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

四十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

四十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

四十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

五十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

五十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

五十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

五十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

五十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

五十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

五十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

五十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

五十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

五十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

六十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

六十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

六十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

六十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

六十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

六十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

六十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

六十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

六十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

六十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

七十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

七十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

七十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

七十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

七十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

七十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

七十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

七十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

七十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

七十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

八十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

八十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

八十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

八十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

八十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

八十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

八十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

八十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

八十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

八十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

九十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

九十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

九十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

九十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

九十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

九十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

九十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

九十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

九十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

九十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百二十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百二十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百二十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百二十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百二十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百二十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百二十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百二十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百二十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百二十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百三十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百三十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百三十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百三十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百三十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百三十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百三十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百三十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百三十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百三十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百四十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百四十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百四十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百四十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百四十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百四十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百四十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百四十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百四十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百四十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百五十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百五十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百五十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百五十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百五十四、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百五十五、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百五十六、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百五十七、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百五十八、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百五十九、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百六十、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百六十一、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百六十二、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

一百六十三、仔牛市場へ出すこと  
仔牛を公正な価格で取引します。

## 盛会だつた愛知県公民館大会

民主的な文化国家建設に邁進するわが国の社会教育の緊要なるに際し、その事業遂行の中核である公民館の使命はいよ／＼重大である。

公民館はこゝ五年有余の間に幾多関係者の努力によつて量質共に発展して地域社会に貢献した業績は頗る大なるものがある。特に本年は青年学級振興法の施行に伴い、その重きを加えている。このときに当り公民館活動を一層振興促進するため十二月二日幸田町公民館を会場として愛知県公民館大会が開催され一層使命の自覚を深めるとともに、意氣を高め強力な展開を期した。

県下公民館関係者は九時前から続々と参集され受付係を面くらわせ、開会前に四百部の印刷物を配布し尽す盛況で、正時開会

一、開会  
二、国歌合唱  
三、挨拶 小野田副会長  
四、祝辞 石川教育委員  
愛知県知事代理  
社会教育振興会会长

五、議事  
1 県公連一般報告  
2 議長選出  
3 提案と協議

一、公民館における青年学級の振興について（丹葉地区額田提出）  
1 建築起債申請に対する許可要望  
2 建築に対する県費助成の要望  
3 物品税免税要望について  
（渥美宝飯、他提出）

二、公民館の施設充実の方途について（丹葉地区額田提出）  
1 実施機関としての実質保持  
2 指導者の陣営強化  
（渥美宝飯、他提出）

三、運営費の確保について  
（渥美宝飯、他提出）  
専任職員の給与を初め運営費に  
対する国及び県費助成の強化  
公民館未設置町村における速かな設置実施方について（県公連提出）

四、住所番地まで正しく  
5 本籍 住所と同じ時は○で開む。

六、昼食、レクリエーション  
1 器楽 幸田中学校  
2 合唱

七、発表 幸田町公民館  
1 映画 嫁の座 ある町のAVE  
2 合唱

八、記念講演 文部事務官 中島俊氏  
9、挨拶 本多館長  
10、閉会 相引課長  
協議題

「愛知の公民館のために」  
志賀主事  
自作幻灯、里の若人、坂崎分館

九、挨拶 本多館長  
10、閉会 相引課長  
協議題

十、閉会 相引課長  
協議題

十一、閉会 相引課長  
協議題

十二、閉会 相引課長  
協議題

十三、閉会 相引課長  
協議題

十四、閉会 相引課長  
協議題

十五、閉会 相引課長  
協議題

十六、閉会 相引課長  
協議題

十七、閉会 相引課長  
協議題

十八、閉会 相引課長  
協議題

十九、閉会 相引課長  
協議題

二十、閉会 相引課長  
協議題

二十一、閉会 相引課長  
協議題

二十二、閉会 相引課長  
協議題

二十三、閉会 相引課長  
協議題

二十四、閉会 相引課長  
協議題

二十五、閉会 相引課長  
協議題

二十六、閉会 相引課長  
協議題

二十七、閉会 相引課長  
協議題

二十八、閉会 相引課長  
協議題

二十九、閉会 相引課長  
協議題

三十、閉会 相引課長  
協議題

三十一、閉会 相引課長  
協議題

三十二、閉会 相引課長  
協議題

三十三、閉会 相引課長  
協議題

三十四、閉会 相引課長  
協議題

三十五、閉会 相引課長  
協議題

三十六、閉会 相引課長  
協議題

三十七、閉会 相引課長  
協議題

三十八、閉会 相引課長  
協議題

三十九、閉会 相引課長  
協議題

四十、閉会 相引課長  
協議題

四十一、閉会 相引課長  
協議題

四十二、閉会 相引課長  
協議題

四十三、閉会 相引課長  
協議題

四十四、閉会 相引課長  
協議題

四十五、閉会 相引課長  
協議題

四十六、閉会 相引課長  
協議題

四十七、閉会 相引課長  
協議題

四十八、閉会 相引課長  
協議題

四十九、閉会 相引課長  
協議題

五十、閉会 相引課長  
協議題

五十一、閉会 相引課長  
協議題

五十二、閉会 相引課長  
協議題

五十三、閉会 相引課長  
協議題

五十四、閉会 相引課長  
協議題

五十五、閉会 相引課長  
協議題

五十六、閉会 相引課長  
協議題

五十七、閉会 相引課長  
協議題

五十八、閉会 相引課長  
協議題

五十九、閉会 相引課長  
協議題

六十、閉会 相引課長  
協議題

六十一、閉会 相引課長  
協議題

六十二、閉会 相引課長  
協議題

六十三、閉会 相引課長  
協議題

六十四、閉会 相引課長  
協議題

六十五、閉会 相引課長  
協議題

六十六、閉会 相引課長  
協議題

六十七、閉会 相引課長  
協議題

六十八、閉会 相引課長  
協議題

六十九、閉会 相引課長  
協議題

七十、閉会 相引課長  
協議題

七十一、閉会 相引課長  
協議題

七十二、閉会 相引課長  
協議題

七十三、閉会 相引課長  
協議題

七十四、閉会 相引課長  
協議題

七十五、閉会 相引課長  
協議題

七十六、閉会 相引課長  
協議題

七十七、閉会 相引課長  
協議題

七十八、閉会 相引課長  
協議題

七十九、閉会 相引課長  
協議題

八十、閉会 相引課長  
協議題

八十一、閉会 相引課長  
協議題

八十二、閉会 相引課長  
協議題

八十三、閉会 相引課長  
協議題

八十四、閉会 相引課長  
協議題

八十五、閉会 相引課長  
協議題

八十六、閉会 相引課長  
協議題

八十七、閉会 相引課長  
協議題

八十八、閉会 相引課長  
協議題

八十九、閉会 相引課長  
協議題

九十、閉会 相引課長  
協議題

九十一、閉会 相引課長  
協議題

九十二、閉会 相引課長  
協議題

九十三、閉会 相引課長  
協議題

九十四、閉会 相引課長  
協議題

九十五、閉会 相引課長  
協議題

九十六、閉会 相引課長  
協議題

九十七、閉会 相引課長  
協議題

九十八、閉会 相引課長  
協議題

九十九、閉会 相引課長  
協議題

一百、閉会 相引課長  
協議題

一百一、閉会 相引課長  
協議題

一百二、閉会 相引課長  
協議題

一百三、閉会 相引課長  
協議題

一百四、閉会 相引課長  
協議題

一百五、閉会 相引課長  
協議題

一百六、閉会 相引課長  
協議題

一百七、閉会 相引課長  
協議題

一百八、閉会 相引課長  
協議題

一百九、閉会 相引課長  
協議題

一百十、閉会 相引課長  
協議題

一百十一、閉会 相引課長  
協議題

一百十二、閉会 相引課長  
協議題

一百十三、閉会 相引課長  
協議題

一百十四、閉会 相引課長  
協議題

一百十五、閉会 相引課長  
協議題

一百十六、閉会 相引課長  
協議題

一百十七、閉会 相引課長  
協議題

一百十八、閉会 相引課長  
協議題

一百十九、閉会 相引課長  
協議題

一百二十、閉会 相引課長  
協議題

一百二十一、閉会 相引課長  
協議題

一百二十二、閉会 相引課長  
協議題

一百二十三、閉会 相引課長  
協議題

一百二十四、閉会 相引課長  
協議題

一百二十五、閉会 相引課長  
協議題

一百二十六、閉会 相引課長  
協議題

一百二十七、閉会 相引課長  
協議題

一百二十八、閉会 相引課長  
協議題

一百二十九、閉会 相引課長  
協議題

一百三十、閉会 相引課長  
協議題

一百三十一、閉会 相引課長  
協議題

一百三十二、閉会 相引課長  
協議題

一百三十三、閉会 相引課長  
協議題

一百三十四、閉会 相引課長  
協議題

一百三十五、閉会 相引課長  
協議題

一百三十六、閉会 相引課長  
協議題

一百三十七、閉会 相引課長  
協議題

一百三十八、閉会 相引課長  
協議題

一百三十九、閉会 相引課長  
協議題

一百四十、閉会 相引課長  
協議題

一百四十一、閉会 相引課長  
協議題

一百四十二、閉会 相引課長  
協議題

一百四十三、閉会 相引課長  
協議題

一百四十四、閉会 相引課長  
協議題

一百四十五、閉会 相引課長  
協議題

一百四十六、閉会 相引課長  
協議題

一百四十七、閉会 相引課長  
協議題

一百四十八、閉会 相引課長  
協議題

一百四十九、閉会 相引課長  
協議題

一百五十、閉会 相引課長  
協議題

一百五十一、閉会 相引課長  
協議題

一百五十二、閉会 相引課長  
協議題

一百五十三、閉会 相引課長  
協議題

一百五十四、閉会 相引課長  
協議題

一百五十五、閉会 相引課長  
協議題

一百五十六、閉会 相引課長  
協議題

一百五十七、閉会 相引課長  
協議題

一百五十八、閉会 相引課長  
協議題

一百五十九、閉会 相引課長  
協議題

一百六十、閉会 相引課長  
協議題

一百六十一、閉会 相引課長  
協議題

一百六十二、閉会 相引課長  
協議題

一百六十三、閉会 相引課長  
協議題

一百六十四、閉会 相引課長  
協議題

一百六十五、閉会 相引課長  
協議題

一百六十六、閉会 相引課長  
協議題

一百六十七、閉会 相引課長  
協議題

一百六十八、閉会 相引課長  
協議題

一百六十九、閉会 相引課長  
協議題

一百七十、閉会 相引課長  
協議題

一百七十一、閉会 相引課長  
協議題

一百七十二、閉会 相引課長  
協議題

一百七十三、閉会 相引課長  
協議題

一百七十四、閉会 相引課長  
協議題

一百七十五、閉会 相引課長  
協議題

一百七十六、閉会 相引課長  
協議題

一百七十七、閉会 相引課長  
協議題

一百七十八、閉会 相引課長  
協議題

一百七十九、閉会 相引課長  
協議題

一百八十、閉会 相引課長  
協議題

一百八十一、閉会 相引課長  
協議題

一百八十二、閉会 相引課長  
協議題

一百八十三、閉会 相引課長  
協議題

一百八十四、閉会 相引課長  
協議題

一百八十五、閉会 相引課長  
協議題

一百八十六、閉会 相引課長  
協議題

一百八十七、閉会 相引課長  
協議題

一百八十八、閉会 相引課長  
協議題

一百八十九、閉会 相引課長  
協議題

一百九十、閉会 相引課長  
協議題

一百九十一、閉会 相引課長  
協議題

一百九十二、閉会 相引課長  
協議題

一百九十三、閉会 相引課長  
協議題

一百九十四、閉会 相引課長  
協議題

一百九十五、閉会 相引課長  
協議題

一百九十六、閉会 相引課長  
協議題

一百九十七、閉会 相引課長  
協議題

一百九十八、閉会 相引課長  
協議題

一百九十九、閉会 相引課長  
協議題

一百二十、閉会 相引課長  
協議題

一百二十ー、閉会 相引課長  
協議題

一百二十ーー、閉会 相引課長  
協議題

一百二十ーーー、閉会 相引課長  
協議題

一百二十ーーーー、閉会 相引課長  
協議題

一百二十ーーーーー、閉会 相引課長  
協議題

一百二十ーーーーーー、閉会 相引課長  
協議題

一百二十ーーーーーーー、閉会 相引課長  
協議題

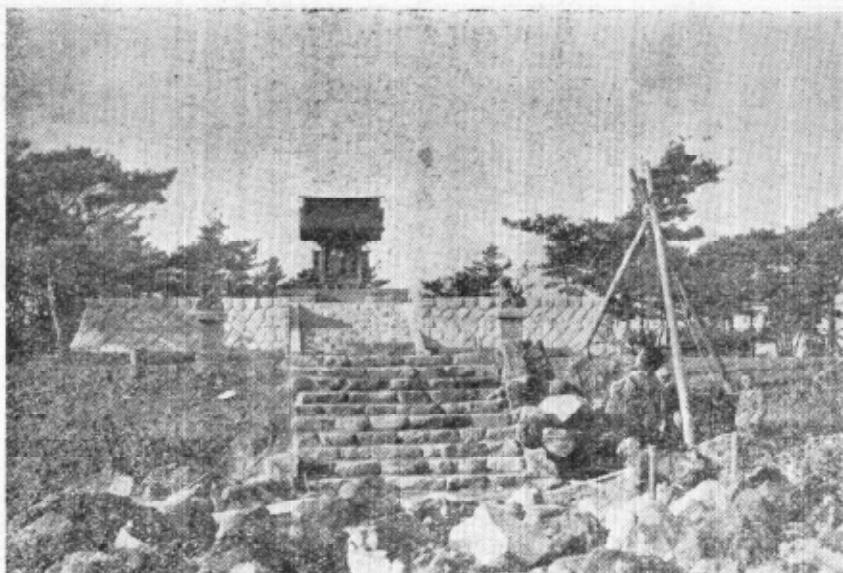
一百二十ーーーーーーーー、閉会 相引課長  
協議題

一百二十ーーーーーーーーー、閉会 相引課長  
協議題</

(5) 昭和28年12月8日

## THE KODATYOKOHÔ

(火曜日)



## 待望の招魂社完成近し

幸田町招魂社移転建設に当たりましては、町民の皆様から多大な御尽力と、町当局の理解ある御後援の下に第一期工事は終了し、第二期工事も年内完成を目指して大忙です。こゝ

に一月末の経費概算を報告して心から謝意を表します。  
昭和二十八年十二月五日  
幸田町招魂社建設委員会

支 出	収 入
用地(立木共)購入費	530.701円
第一期工事費	418.000
天然石購入費(運賃共)	3.500
富士石々	62.400
イビ石々	59.410
雜 費	8.000
合 計	1.284.201
岩村	173.117円
自根	418.000
勝間田	62.400
千田	59.410
鷲尾	8.000
國貞	14.987
安場	735.918
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	
順位	
氏名	
井関	
盛長	
明治	
就任期間	
鷲尾	
國貞	
安場	
保和	
廉平	

保育斷想

上杉知應

△子供は蒐める

△子供は蒐める  
子供は色々な物を蒐めたがるものである。子供のポケットを見ると小石や硝子の缺けや貝殻やドングリや木の葉など色々なものが入つてゐる心なき母親は、衣服のいたむを恐れて捨ていしまう。大人はこんなものと思うが、子供の立場から言へば床の間の貴重な置物や絵画よりも幾倍か大切か知れない。

子供が物を蒐めるのは蒐集本能の然らしむるのであるが、これが将来彼等の自然科学研究の萌芽である。決して厄介物視して彼等の蒐集物を邪魔物扱いにしてはならぬと思う。

特に児童が物を蒐める様になると、そこに所有観念といふものが発達するのである。お互に他人の所有権を尊重するのは道徳上大切なことである。幼少の時から此の所有に対する正しい理解を持たしめなければならぬ。兄弟喧嘩の八九割は此の所

有権の争いである。

或母親が子供に何気なくこんなことを聞いてみた。「道に手袋が落ちていたらどうする。」子供は直ちに「拾つて家の箪笥の引出しへ仕舞う。」と答へたそうである、母親は大いに驚いて色々訊き聞かせた、そして母親自身も反省してみると突然思ひあたることが胸に浮んだ。それは或る日此の五才になる子供を連れて

④インフルエンザの予防

⑤肺炎のときの家庭看護

⑥冬に多い乳幼児の事故防止

## ○インフルエンザの予防

そろ／＼流行性感冒の季節であるが、インフルエンザはその病菌が口や鼻から侵入して感染するものであるから、流行時にはなるべく人ごみを避けること、外出から帰つたら顔や手を洗うともによくうがいをすること。人ごみに出る時はマスクをかけること等を励行する。一方患者は人と一ツしよにいる時（家族に対するとしても勿論）マスクを用いることが他への伝染を防ぐ道義である。

のが簡単菌数で手をこすり合せた後は水を比較したが丁寧に洗うとかは個人大体日常生活によつて異なるが、

## 手洗の効果

種 別	方 法	菌 数		減少率 %	減少率 の 比
		手洗前	手洗後		
井 戸 水	汲 置	2,400	1,500	62.5	2.9
	流 水	30,000	6,400	21.3	
水 道 水	簡 単 流 置	4,400	1,600	36.3	3.0
	水	40,000	4,800	12.0	
温 湯 (40)	丁 寒 流 置	10,000	1,300	13.0	7.1
	水	60,000	1,100	1.83	
石 鹼	汲 置	5,700	750	13.1	7.9
	流 水	3,500	58	1.65	
3%クレゾール 石けん水	汲 置	840	54	6.4	29.0
	流 水	3,500	8	0.22	

これから火ばち、こたつ、いろいろ等に親しむ時季で、毎年冬になると乳幼児の火傷や焼死が多くなるが、大人ならば大したこともなくしてすむ程度の火傷でも、乳幼児にはひどい大火傷となり、悪くすると死亡したり、顔面に一生がい醜いあとを遺す

たり、手足がひきつれて肢体不自由児になつたりする。また熱い汁や熱湯等による火傷も親が注意する他はない。若し火傷を起したら、軽いと思つても乳幼児はひどくなりやすいから、即刻医師にかけつけて正しい治療を受けることが必要です。

(7) 昭和28年12月8日

## THE KODATYOKOHÔ

(火曜日)

## クリスマス・ツリーと門松

クリスマスが、また近づきました楽しいお正月ももうそこまできています。クリスマスやお正月に売り出すお菓子や、鳳、羽子板などは、今忙しく準備されています。

ところで、豆電球やおかしを販賣やかに飾るクリスマス・ツリーに使うモミの木や、門松に使うマツやタケは、毎年今頃山からきりだしていますが、森林法という法律ができるので、あるきまつた年数がたくなれば、木をきり出すことはできなくなりました。むやみに木をきると大水の元になるからです。

タケはすぐのびるからまだよいとしても、モミの木やマツをじんじやんきることはいけませんね。楽しいクリスマスや正月を迎えるために大切な木をきりだすより、いつそんなんむだなことをやめるかこじんまりと飾ることにしたいたいのですね。この日にあたつて、皆さんのお庭で特別に木を育てたらどうでしようか。クリスマス・ツリー用のモミの木、お正月用のマツの木などと、札に書いて育てたら、おもしろいでしょか。

## 人口動態(10月分)

	累計		
出生	18	{男 11	227 { 125
		{女 7	102
死亡	7	{男 2	87 { 43
		{女 5	44
死産	0		6
婚姻	12		77
離婚	3		9

## 増産百語

## 聖人

の／尋つるか聖隣人曰  
くねた。と入れと々聖  
こと問の時丘思とみう々も  
だいと、とつい國々も  
尋こそはたつた天聖  
うるこ孔のた為の理に  
に子にのにて従な  
たと三富の、で夙あるいろ  
と志士名おあしるた。人う  
いろと講でらるた。人う  
いつ、いであが、聖隣  
たつ名る。だけ  
こそた高の。に自丘「  
それを他よりうに親に仕え  
ては小分が聖人聖人になつたのでは  
横は谷がこと誰三昔と  
ある。これ手わが玉の。一  
の手わが玉の。これ習かん鳩ヶいの  
町のものも志崎か。というのは誰を  
兵よのをがの称人見て  
衛くで通あ事しを聖

## 人権週間

1953年

世界人権宣言五周年記念  
十二月四日より十日まで

岡崎人権擁護委員会  
幸田町人権擁護委員会  
藤井祐慶  
岡崎人権擁護委員会  
支議局会

十二月から新しい年賀郵便の特別取扱は  
十二月廿八日からですが  
なるべく早めに  
お出し下さい。

幸田郵便局

百円さつ

新しい百円さつが十二月一日から  
できました。たて七センチ六ミリ、  
さつとたては同じですが、よこがす  
こしつまっています。表は明治時代  
に国会を開くのに力をつくした坂垣  
退助、裏は国會議事堂です。これま  
での百円さつもしばらく使えますが  
、だんだん新しいのかわります。

十二月から新しい年賀郵便の特別取扱は  
十二月廿八日からですが  
なるべく早めに  
お出し下さい。

幸田郵便局

百円さつ

新しい百円さつが十二月一日から  
できました。たて七センチ六ミリ、  
さつとたては同じですが、よこがす  
こしつまっています。表は明治時代  
に国会を開くのに力をつくした坂垣  
退助、裏は国會議事堂です。これま  
での百円さつもしばらく使えますが  
、だんだん新しいのかわります。

現在私どもの健康は保障され  
るにも拘らず、その体力と生活環境  
は憲法の理想とは遙かに遠い現状  
にあるから、集団的に健康調査を行  
いその現況を明かにし、その結果に  
基き対策をたて、民衆の健康と体力  
の向上を圖らねばならないが、この  
理想は一朝にして現実するものでは  
ないので、先ず民衆の中軸となるべき成人（昭和八年一月十六日生れか  
ら、昭和九年一月十五日生れまで）  
の未婚の男女を対象として十二月十  
一日午前十時から午後四時まで、公  
民館において岡崎保健所の出張の下  
に成人健康調査を行いますから、適  
合者は必ず受検されたい。

昭和28年12月8日

## ある俳句会

平 松 荻 雨

私はこの秋ある人の好意で一地方の俳句会にまねかれた。この俳句会は子規忌(明治二十五年九月十九日年僅か三十六才で東京根岸に逝いた正岡子規本名昇の忌日、糸瓜忌、糸縄祭忌ともいう)及び鬼城忌(村上鬼城の忌)と共に地元俳友の物故者追善俳句会であつた。会場はその地の尼寺であつた。好天気に恵まれて他方からも多く人が集り、これらの人の中には相当有名俳人も見受けられた。しかしそれ以上に地元の人々の参加は盛大なものであつた。殊にこのうち三分の一ほどが婦人である。一と口に婦人といつても結婚前の人とか、すつと年輩の人というのではなく、家庭的にいつて子供も両親もあるといつた中年の婦人が一番多かつた。これらの人々とても小さな町のことではあり、ほとんどが農家の主婦である、にもかゝわらず今日一日だけは主人からも親からも心よく暇をいただいて来たから何の心配することもなく心ゆくまで遊ばせてもらいますという話であつた。だから石段にかどんだり、木に寄りか

よつたり、鶴頭の前に立つたり、歩いたり、木の下で句を作つてゐる姿を見ても楽しげがあふれているようであつた。うまい句を作つていゝ点を取ろうなどといふような気持はさらにならず生活から離れた今日の一日といつた軽い感じで句を作つてゐるようと思われた。そして今日この会へ来れば誰さんにも誰々さんにも会えるその楽しさもあつて參つたのですよと言つてゐた人もあつた。

男の人達も背広に皮靴といつた姿はほとんど見られず千日草履や、下駄ばかり、手ぬぐいを腰に下げ煙草を吸して、こゝえ来るほんの少し前までは田圃に出ていたというような農家のおやじさんや、若い衆達であつた。太い指できざみ煙草詰めながら鉛筆がうすくて書きにくいといつては舌でなめながら句をノートしてゆく。無性ひげの伸びてゐる人もある。ズボンの上から黒い三尺を巻付けている人もある。おゝよそ都會や、いやされた且那衆方の吟行句会などに見られないおもむきの変つた風景であつた。

見栄もない、外聞もない純な気持のこれらの人達の集りこそ、子規忌にふさわしい、鬼城忌にふさわしい雰囲氣であつた。そしてこの雰囲氣こそ農村俳句の一つの現われでなくてはならず又行き方ではなかろうか

よつたり、鶴頭の前に立つたり、歩いたり、木の下で句を作つてゐる姿を見ても楽しげがあふれているようであつた。うまい句を作つていゝ点を取ろうなどといふような気持はさらにならず生活から離れた今日の一日といつた軽い感じで句を作つてゐるようと思われた。そして今日この会へ来れば誰さんにも誰々さんにも会えるその楽しさもあつて參つたのですよと言つてゐた人もあつた。

男の人達も背広に皮靴といつた姿はほとんど見られず千日草履や、下駄ばかり、手ぬぐいを腰に下げ煙草を吸して、こゝえ来るほんの少し前までは田圃に出ていたというような農家のおやじさんや、若い衆達であつた。太い指できざみ煙草詰めながら鉛筆がうすくて書きにくいといつては舌でなめながら句をノートしてゆく。無性ひげの伸びてゐる人もある。ズボンの上から黒い三尺を巻付けている人もある。おゝよそ都會や、いやされた且那衆方の吟行句会などに見られないおもむきの変つた風景であつた。

左に記して見た。(作者名省略)  
糸瓜忌にまかる美容院にも寄り  
むしろ織る音もきこえて村の秋  
蓮織るは女の仕事馬肥ゆる  
句に生きる侍にありだつ祭忌  
鬼城忌や明月といふ菊生けて  
百姓も閑な九月や太蘭干す  
芒活け大まんだらの月夜めき

以上

## 民生委員改る

昭和二十八年十一月一日をもつて

民生委員、児童委員の改選が全国一斉に行われるにあたり、左記十氏は地域社会の興望を担い、今回新たに厚生大臣から愛知県民生委員を委嘱されたのであります。児童委員については、児童福祉法第十二条第三項の規定により自動的に併せ委嘱されることになります。

受持区域(大字)

○印は再任

深溝	荻、芦谷	坂崎、久保田	長嶺、久保田	大草、高力	菱池	横落北鷺田	○印は再任
本多鉢一郎子	大浦和郎子	植田栄一	○印は再任	○印は再任	○印は再任	○印は再任	○印は再任
一郎子	大浦和郎子	栄一	○印は再任	○印は再任	○印は再任	○印は再任	○印は再任

## 地震の強さの区別

地震の大きさはゆれる加速度によつて次のようにわれます。

○微震 静かに止つてゐる人、特に感じ易い人だけ感じるもの。

○軽震 戸、障子が僅かに動く位でたいていの人が感じるもの。

○強震 戸、障子がたゞくい、家もゆれます。

○中震 家が激しくゆれ、八分位の水が器からあふれ出ます。

○強震 家の壁に裂目ができ、煙突、土蔵等が壊れる事があります。

○震度 家が倒れ、山崩れがおこります。

○震度 道に大きなひびが入ります。